

What's NEW

今年度より、15の区立学校で、品川コミュニティ・スクールの取組を開始しました。現在、子どもを取り巻く環境は複雑化し、学校に求められる課題も多様化しています。もはや学校だけでは対応が困難な事例も多くなってきました。次世代を生きる子どもたちのためには、学校が自律的な運営を行うための力を付けるとともに、保護者や地域も加わって総がかりで課題を解決する仕組みづくりが不可欠です。その仕組みが品川コミュニティ・スクールです。学校を核として、義務教育9年間で地域ぐるみで支えること、教員の異動に影響を受けず、継続的な教育活動を展開すること、学校、地域、家庭間の連携を強化することを目的としています。

Start!

品川コミュニティ・スクール

地域と共に育てる9年間の義務教育

品川コミュニティ・スクールの特徴

品川コミュニティ・スクールは二つの組織を同時に設置します。

① 校区教育協働委員会

学校運営に参画する組織で、次の四つの役割を担います。

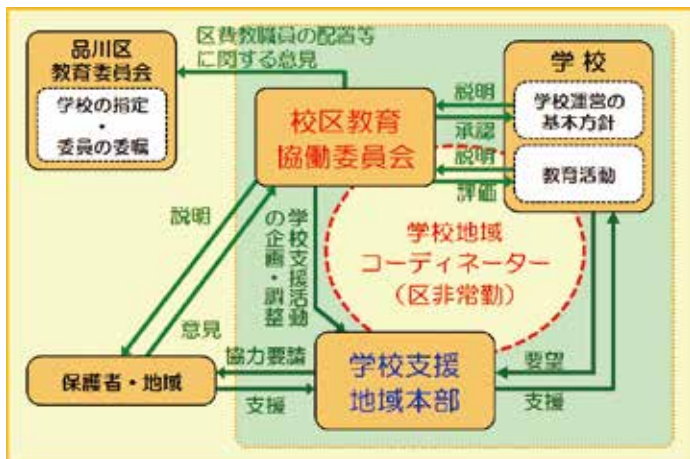
- ・ 学校運営の基本方針の承認
- ・ 教育活動の評価
- ・ 区費教職員の配置等についての意見
- ・ 学校支援活動の企画・調整

委員は、学校管理職のほか、保護者や地域住民、学識経験者、卒業生、関係機関職員、学校地域コーディネーターで構成します。年六回程度の委員会を実施し、学校評価を行うとともに、子どもたちの義務教育9年間でどのように支えていくかを検討し、教育課程の編成に関わっていきます。

② 学校支援地域本部

学校が必要とする教育活動などについての支援を行う組織です。これまでのボランティア活動等を組織化します。

具体的には学習や教育活動に関する支援として、学習指導、部活動指導、校外学習の引



学校地域コーディネーターの配置

学校への支援活動が円滑に行われるよう学校地域コーディネーターを各校に一人配置し、学校支援ボランティアの募集や取りまとめ、派遣などの事務を行います。上図のように、学校、校区教育協働委員会、学校地域支援本部が協働して教育活動を進めるための、諸調整も行います。

今後のスケジュール

平成29年度には31校に、平成30年度には全46校に拡大して実施する予定ですが、学校や地域の実態に応じて、柔軟に進行していきます。



おめでとう！ 伊藤学園開校10周年



平成28年6月18日(土)、地域・保護者の皆様のご支援・ご協力のもと伊藤学園の開校10周年記念式典が開催されました。今年度伊藤学園は、義務教育学校に校種変更、そして品川コミュニティ・スクールとしても新たな第一歩を踏み出した節目の年でもあります。

記念式典は、生徒たち(9年生)による雅楽の演奏で幕を開けました。

羽鳥紀子校長からは「原小学校と伊藤中学校それぞれの輝かしい歴史を引き継ぎ、開校から10年が経ちました。この間、異学年交流が積極的に展開され、大きな特色となっています。これからも伊藤門に刻まれている言葉どおり、『艱難辛苦』を乗り越え、互いに認め合い、心豊かに成長していけるよう充実した学校生活を送りましょう」との式辞がありました。

また、濱野健区長からは、「1年生から9年生が同じ生活・学習環境で過ごす中で、互いを尊重し集団としての力を高め、自分自身の手でよりよい学校生活を創り出す力を伸ばしましょう」との祝辞がありました。さらに来賓祝辞をいただいた、品川区議会の大沢真一議長や伊藤学園PTAの秋廣誠一会長をはじめ、多くの方が来場されました。



式の終盤では、『伊藤学園の伝統・絆・力・愛・感謝・そして未来へ』をテーマに各学年からの式歌が披露されました。最後は、会場の全員で『ふるさと』を合唱し、伊藤学園が生涯心のふるさとになることを願う式典の幕が閉じられました。

芳水小学校の改築工事が 始まります

芳水小学校は、今年度より仮設校舎工事が始まり、9月からは校舎の改築工事が始まります。

学校周囲の擁壁を新たに作り直すことで安全性を高め、校舎には太陽光発電や雨水利用システムなど、環境に配慮した設備を導入し、子どもたちの環境教育にも役立てていきたいと考えています。完成は平成30年度を予定しています。

また、今年度は城南小学校・幼稚園の実施設計と準備工事も始まり、後地小学校は、基本設計を行う予定です。

工事期間中は、児童・保護者・地域の皆さまにご迷惑やご不便をお掛けすることになりませんが、安全に最大限配慮して行いますので、ご理解の程よろしくお願いたします。



マイスクール五反田 開設

【不登校の現状】

文部科学省では、不登校の原因や背景として、様々な要因の複合化や多様化の傾向があるとされています。具体的には、子どもが周囲との人間関係を構築できないことや、学習のつまずきを改善できないといった状況があります。

また、不登校の「きっかけ」としては、「勉強が分からない」「生活リズムの乱れ」「インターネットやメール、ゲームの影響」などが挙げられており、効果的な支援のあり方が強く求められています。

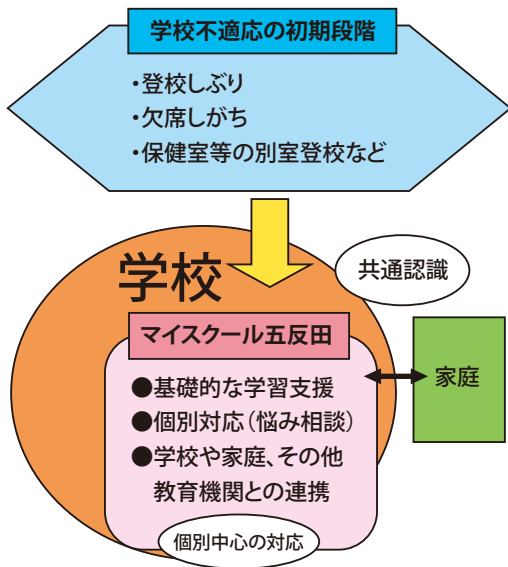
【初期対応を重視】

教育委員会では、区立学校在籍の7年生から9年生で、登校しづりや保健室登校をしているなどの学校に行きづらくなっている生徒を対象に、居場所をつくり、不登校の未然防止・早期対応を図るとともに、学校復帰につなげることを目的として、教育総合支援センター内に、マイスクール五反田を6月に開設しました。

【活動について】

マイスクール五反田では、週に一日、平日の午前中に個別学習を中心とした活動を行います。生徒が自分で計画を立てたり、学習したことを報告したりするなどの学習習慣づくりを基本としています。

スタッフは、教育相談員1名と、学校経営監2名、大学生のメンタルフレンド1〜2名で、学習や生活等の悩みなどについて、気軽に相談することもでき、学校の補助的機能として、個々の状況を把握するとともに、一人一人に丁寧に対応し、学校復帰の支援をしていきます。



熊本地震義援金について

4月に発生した熊本地震により被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

区立の小・中・義務教育学校からお預かりした義援金を集計いたしました。詳細は左表の通りです。

お預かりした義援金は6月上旬、品川区から熊本・大分両県に配分させていただきました。

児童・生徒が自ら主体となって学校の前や最寄り駅の前で募金活動を行うなど、様々の形で取り組みが行われました。

たくさんのご協力ありがとうございました。

教育委員会を通じて 学校から集まった義援金

◆総額	968,738円
◆内訳	
小学校	587,006円
中学校	222,303円
義務教育学校	159,429円

区固有教員採用一年目を振り返って



指導課 指導主事
阿部 大介

私は経験者枠で採用され、指導課に配属されました。

一年間を振り返って、強く感じたことは、品川区の教育への情熱です。小中一貫教育、市民科、九年間の英語科、特別支援教育の充実など、子どもたちのために様々な施策が推進されています。

昨年はこのうちのいくつかを担当しましたが、全国の先駆けとなるものが多く、試行錯誤しながら進めるため、大変な経験を幾度もしました。

それでも、先生方が誠実に実践してくださって、子どもたちが喜ぶ姿を見ると、嬉しさがこみ上げてきます。

これからは、品川コミュニティ・スクールを中心に地域で育てる教育の充実が進んでいきます。区固有教員として、積極的にかわり、品川区の教育がさらに発展していくよう尽力していきます。



品川学園 教諭
金井 博子

私が勤務する品川学園では、一年生から九年生まで二〇〇人以上の児童・生徒が毎日一緒に学校生活を送っています。子どもたちの成長段階に応じた学びができるよう、授業の研究や特色あるカリキュラムの開発に教職員一丸となって取り組んでいます。

昨年度までは小中一貫校でしたが、今年度は新たに義務教育学校となり、学校内も新しい空気に包まれています。

例えば、委員会・自治活動を五〜九年生で、運動会は一〜四年生と五〜九年生で分けて行う等、新しい教育活動を実践しています。

そんな進化し続ける品川学園で、自分自身も先生方や子どもたちと共に学び、義務教育学校九年間の一貫教育の在り方を考え、提案し、実践していきたいと思っています。



上神明小学校 教諭
永井 真美

私の勤務する上神明小学校では小規模校のよさを生かし、全職員、地域の方が一丸となって特色あふれる教育活動を展開しています。

その一つに「上神明コミュニティ・スクール委員会」があり、様々な場面で地域の方にご協力していただいています。

昨年度は、オリンピック・パラリンピック推進校としての指定を受けて、オリンピックをお招きしたり、体力向上推進校としてコーディネーション・トレーニングを実践したりしました。

今後とも、配属校での教育活動に努めるとともに、固有教員として市民科学習にも力を入れ、未来を担う品川区の子どもたちを育てていきます。



「食」の国際交流
グローバル給食

品川区区内には現在11カ国の大使館と4カ国の領事館があります。こうした実態を生かし、日本食の紹介や他国の料理を給食献立に取り入れるなど、「食」を通して学校と大使館との交流を図る「グローバル給食事業」を実施し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、国際理解を深めるきっかけ作りとしています。

平成27年度は小山台小学校をモデル校とし、在東京タイ王国大使館職員を招き、大使館のシェフより教わったタイ料理（ガパオライスなど）を給食で提供しました。その他、大使館職員によるタイを紹介する授業なども行い、交流を図りました。

今年度は実施は大していく予定です。



タイ料理の献立

春の子ども
読書の日フェア

品川区立図書館では、4月15日（金）から5月11日（水）まで「春の子ども読書の日フェア」を開催しました。

乳幼児から児童までそれぞれの年代に、楽しみながら読書に興味をもってもらえるようにと、各図書館でブックフェアをはじめ、おはなし会やてづくり会など、様々な催しを開催しました。

ブックフェアでは、「はるランラン」を共通テーマに、各館ごとにテーマを決め、春を感じられる本の特集展示を行いました。

また各図書館で企画された催しも、多くの参加者で賑わいました。



おはなし会では、熱心に話に聴き入り、保護者の方と一緒に手遊びに参加して笑顔を交わす子どもたちの姿が見られました。また、てづくり会では、子どもたち一人一人が、思い思いの作品を完成させ、満足そうにしている姿が見られるなど、図書館や本に親しむ絶好の機会となりました。

秋にも、「秋の子ども読書の日フェア」としてブックフェアや人形劇等のイベントの開催を予定しています。多くの方の参加をお待ちしております。

その他、図書館では、おすすめ本リストを発行するなどしています。ぜひお子さんと一緒に、お近くの図書館へ足を運んでみてください。



品川区子ども読書活動推進PRキャラクターブックマクんとしおりちゃん

荏原図書館「えばつぐ」
をご利用ください



荏原図書館では、館内でご自由にお使いいただける館内バッグ（愛称「えばつぐ」）をご用意しています。たくさんの本を借りたいときや、どの本を借りるかじっくり選びたいときなど、館内での持ち運びバッグとしてお使いいただけます。

バッグは品川区内の福祉施設で作られた製品です。カウンターには、福祉施設製作のブックカバーやしおりも販売しております。ぜひお手に取ってご覧ください。



平成27年度
品川区児童・
生徒教育長表彰式

平成27年度品川区児童・生徒教育長表彰式が平成28年2月8日に区役所で行われました。

この式は、区立学校において、スポーツと文化の分野で優秀な成績を収めた個人や団体、および学校や地域・身近な人々のために貢献し、他の模範となるような行動をした個人や団体をたたえ表彰するものです。

(敬称略)

【スポーツ部門】 15件

三木小	1年	古川 音和(レスリング)
城南第二小	5年	佐藤 洋輔(水泳)
城南第二小	5年	盛崎 海恋(フリースタイル)
第三日野小	6年	森川葵咲樹(レスリング)
大井第一小	6年	中野 桐吾(レスリング)
上神明小	6年	弓指 隼(野球)
浜川中	7年	田南部魁星(レスリング)
鈴ヶ森中	7年	上斗米彩花(スポーツエアロビク)
荏原第六中	9年	石橋美紗樹(新体操)
日野学園	9年	森川 海舟(レスリング)
日野学園	4年	原 弘樹(空手)
品川学園	7年	飯塚 乙葉(チアリーディング)
NEW ASAMADAI(浅間台小他)全11名(バレーボール)		
品川レディース(伊藤学園他)全13名(軟式野球)		
戸越台中 水泳部(7~9年)全10名		

【文化部門】 2件

大一すまいる(大井第一小)
6年 作田伸一 5年 内山あや 3年 作田勇一(将棋)
荏原第一中 9年 宮地啓明(英語スピーチコンテスト)

【ボランティア等の部門】 7件

大崎中(防災活動) 9年 岩井友希 9年 江田千聖
9年 鍛谷奈生 9年 島田広大 9年 牧 武尊
荏原第一中 生徒会(地域イベント運営)
荏原第一中 美化委員(地域清掃等)

表彰楯とメダルを授与した中島教育長からは「皆さんの頑張りが家族や地域の方にも大きな感動を与えてくれました。苦難があっても乗り越え、自分の力を伸ばしていただく」と、激励の挨拶がありました。



優勝おめでとうございます！
少年少女スポーツ大会

第27回品川区長杯小学生卒業記念バレーボール大会が3月20日に、総合体育館で開催されました。12チームが参加し、好試合が展開されました。

優勝

立会アタッカーズV・B・C(男子)

準優勝 ニ延マリンス

第3位 三木ジュニアVBC

NEW ASAMADAI



優勝 立会アタッカーズV・B・C

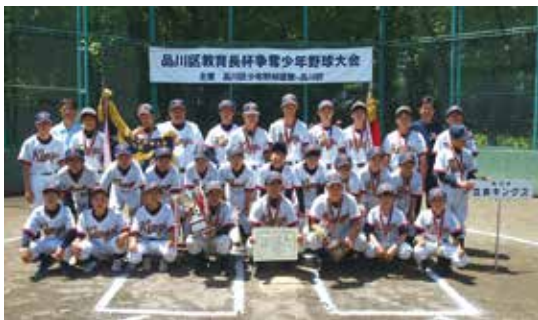
第33回品川区教育長杯争奪少年野球大会が、しながわ区民公園を中心に、4月3日から5月8日まで開催されました。中学生12チーム193名が参加し、熱戦を繰り広げました。

優勝 立会キングス

準優勝 西大井・倉田野球クラブ

第3位 水神ファイターズ

富士見台中学クラブ



優勝 立会キングス